

忙 申 閑

10月1日から消費税増税が施行されました。政府はこの機に乗じて、キャッシュレス決済を推し進めようと画策しています。しかしながら、この制度が現金好きな日本人にどこまで受け入れられるのか、全く不透明です。

日本人はリスク回避傾向が強く、保守的で貯金を好む民族です。このような性格傾向は脳内のセロトニンが関与しています。セロトニンは、“幸せホルモン”“情緒安定ホルモン”などと呼ばれています。脳内にセロトニンが十分あると安心感が生まれ、

意欲も保てます。逆に少ないと不安感が高まりやすくなります。

セロトニンの再取り込み作用を担うセロトニントランスポーターの数が少ない人の割合が、日本人は世界一高いと言われています。日本人は世界一不安になりやすい民族だということです。この現象は、セロトニントランスポーター遺伝子のタイプにより説明されています。

セロトニントランスポーター遺伝子には、LL型、SL型、SS型があります。LL型は楽観的で、SS型は不安が強く悲観的、

セロトニンと日本人

広報委員 弓崎 恭俊

ネガティブな性格で、SL型はその中間です。日本人の約3分の2がSS型で、約3分の1がSL型です。LL型は数パーセントしかいません。台風や洪水、日照りや大雪、更には地震など天災の多い島国では、LL型の人が生き延びてこられなかったのだと考えられます。

思えば、リオデジャネイロ五輪やアテネ五輪の際に、大会直前まで完成していない競技場があるといった報道がありました。現地の方は、競技に間に合えばいいじゃないかと楽観的なコメントをしていたのを思

い出します。

私は敢えて、この悲観的な民族を楽観的に捉えたいと思っています。不安の強さから来る気配り、繊細さによりこの国は経済大国になりました。医療水準も高く、世界に誇れる質を保っているのですから。